

## 柱 3 環境共生

### 主要指標 森林整備による西山の森林の CO<sub>2</sub> 吸収量

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
累計 1,589t-CO <sub>2</sub>	累計 1,666.93t-CO <sub>2</sub>

2006（平成 18）年度の森林整備実施分から、CO<sub>2</sub> 吸収量の算定を始め、以後、累計で進捗管理しています。森林整備をすると、森林整備をしていない時よりも、今後毎年の CO<sub>2</sub> 吸収量が増えると考えられるため、その増加分の年間 CO<sub>2</sub> 吸収量を、客観的手法に基づいて計算しています。これを足し上げたものが主要指標です。しかし、注意しなければいけないのは、その後、木が老齢になったり、周囲が再び混み合うなどして、森林整備をしたことによる増加分の年間 CO<sub>2</sub> 吸収量は、基本的には逡減していくということです。よって、成果指標である累計の CO<sub>2</sub> 吸収量は、今でもその増加吸収量を維持しているということではなく、あくまでもこれまで森林整備をしてきた実績を評価するためのものとして見る必要があります。また、西山森林整備構想に基づく継続的・計画的な森林整備を続けていくことが必要です。2024（令和 6）年度の実績については、森林整備を実施した結果、令和 5 年度までの累計 1,638.85 t から 28.08 t 増加し、目標を達成しました。



### サブ指標 西山における植物調査で確認できる種の数

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
種の数維持 (168 種)	183 種

西山において継続的な植物調査を実施しています。今の調査方法になった 2015（平成 27）年度から 2020（令和 2）年度の間で最も少なかった数 168 種と比較して、2024（令和 6）年度は 15 種多い結果でした。調査を行った日によって確認できない種もあることから、植物種数の変動は長期的な視点に立って見ていく必要があります。今後も調査を継続していきます。



## (1) 西山をシンボルとする自然環境の保全・再生・活用

### ① 西山の森林整備

#### 竹林を含む森林整備

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
森林整備面積 延べ344ha	森林整備面積 延べ343.36ha

森林整備とは、森が健全に育ち、地下水の保全や生物多様性、災害の防止などの多面的機能を維持していくために、木を間引いたり、拡大竹林を伐採したりすることです。このような整備で、木が吸収する二酸化炭素の量が増え、地球温暖化対策にもつながっています。2024（令和 6）年度は 5.85ha の整備を実施しました。



## 森林整備のうち利用間伐

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
利用間伐面積延べ14.5ha	利用間伐面積延べ14.99ha

2024（令和 6）年度は、0.99ha 分の利用間伐を実施し、長岡中学校学習机天板、共生型福祉施設内装材等に利用しました。

また、上記の目標管理している利用間伐面積とは別に、2014（平成 26）年度から、間伐材を元にした薪を販売しており、購入補助制度も備えて利用促進を図っています。

※間伐とは…健全な森林育成のために樹木を間引くこと。



長岡中学校に納品された学習机

## ②生物多様性の保全

### モニタリングサイト 1000 里地調査の支援

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
調査項目 3 項目	調査項目 2 項目

環境省が実施するモニタリングサイト 1000 里地調査に、市が参画する西山森林整備推進協議会として参加しています。この調査は、全国の多数の場所で、統一した方法により、各種生物の調査を行うものです。長岡京市内では、西山をフィールドとして鳥類、チョウ類、植物相の 3 項目の調査を登録しています。2024（令和 6）年度は、チョウ類と植物相の調査を行いました。



西山近辺で見られるオオムラサキ

## 野生動物と親しむ機会の創出

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
イベントの開催年 1 回	イベントの開催年 1 回

例年、冬鳥が観察できる 2・3 月頃に、野鳥観察をととして自然環境保全に目を向けていただくイベントとして、バードウォッチングを開催しています。2024（令和 6）年度も 2 月に開催し、9 組 11 名の方に参加いただきました。

また、西代里山公園管理棟では、長岡京市ゲンジボタルを育てる会が、6 月～秋頃までホタルの養殖活動を行っています。豊かな自然の象徴とも言えるホタルの養殖の様子を見ていただくことで、自然環境保全にも目を向けていただくものです。



小畑川で見られるカワセミ

### ③西山の有効活用

#### 西山を活用した環境学習

2024(令和6)年度の目標	2024(令和6)年度の結果
西山を活用した特色ある環境学習の実施	西山を活用した特色ある環境学習の実施

市内の各学校で、西山を活用した環境学習が取り組まれました。薪ストーブを設置している小学校では里山学習を兼ねた火入れ式を実施し、西代里山公園での稲刈り体験など、西山方面への校外活動を行った学校もあります。その他、たけのこをテーマとした学習、竹工作など、学校によって特色のある取り組みを実施しました。



薪ストーブの前で里山のめぐみについて話す森林整備団体の代表者

#### 地域の環境活動を担う人材の養成講習会・研修会の実施

2024(令和6)年度の目標	2024(令和6)年度の結果
受講者数延べ 130 人	受講者数延べ 127 人

自然豊かな西山の保全に取り組む人材を育成するため、森林ボランティア養成講座を実施しています。2024(令和6)年度は、延べ受講者数の目標値には届きませんでしたが、15人の参加がありました。参加者が継続的に環境活動への参加ができるよう、既存ボランティア団体の紹介や、次回の森林整備活動の案内などを実施していきます。

その他にも、まずは西山を身近に感じてもらうことが重要と考え、間伐体験と木工教室がセットになった「西山ふれあいワークショップ」も、例年開催しています。



森林ボランティア養成講座

#### 西山キャンプ場の有効活用

2024(令和6)年度の目標	2024(令和6)年度の結果
老朽化した付帯設備等の修繕と関係課等との活用方法の検討	老朽化した付帯設備等の修繕・キャンプ場としての設置意義の検討

雨風等による木材の腐食により床板が傷んでいた橋の修繕を行ったほか、枝枯れ等による危険木数本の伐採等を行いました。また、昨今の利用者数の減少を受けて、キャンプ場としての設置意義の検討を行いました。

おおむね  
目標を達成



#### ④森林組合の育成

##### 森林組合の組織運営維持

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
組合員数 102 人	組合員数 100 人



西山の森林整備を進めるために、長岡京市森林組合の組織運営や活動を支援しています。2024（令和 6）年度も農業祭や環境フェアでのブース出展や、サントリー天然水の森事業の受注に係る整備業者との調整等において活動を支援しました。

#### (2)竹林の保全・再生・活用

##### ①竹林の整備

##### 竹林の整備

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
竹林整備面積延べ 28.7ha	竹林整備面積延べ 28.0ha



西山の住宅地に接する部分の多くが竹林です。ブランドの長岡京のたけのこを産出する場所ですが、放置されると森林を侵食して広がり、災害リスクが高まったり、生物多様性が失われたりします。

2015（平成 27）年 4 月に改定した西山森林整備構想において放置竹林の拡大は最優先課題としており、今後も竹林整備に積極的に取り組んでいきます。

また、いくつかの地点では、竹林整備ボランティア団体が放置竹林整備の重要な役割を果たしています。団体の高齢化という課題があるため、担い手育成のため森林整備ボランティア養成講座（25 ページ）を実施しています。別の課題である竹の出口戦略としては、次項の調査・研究を進めています。

##### ②竹の持続可能な利活用に向けた調査研究

##### 学術機関・事業者等と連携した実用化の検討

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
京都大学等と連携した資源活用手法の調査研究を継続	京都大学等と連携した資源活用手法の調査研究を継続



2021（令和 3）年度から、長岡京市の放置竹林問題の解決に資する取り組みとして、京都大学及び民間事業者等との連携のもと、竹材の成分であるセルロースから酵素を使って生分解性プラスチックを製造し、活用する共同研究を開始しています。産官学等が連携することでそれぞれの強みを生かし、新たな竹の利活用方法を生み出すことが期待されます。2024（令和 6）年度は、京都府と連携して竹ものさしを試作しました。令和 7 年度に小学校に提案し、竹ものさしプロジェクトとして伐採体験等を実施予定です。



試作した竹ものさし

### (3)環境にやさしい農業の推進

#### ①環境負荷に配慮した農業の推進

##### 有機栽培に対する補助金の交付

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
年 300 千円	年 300 千円

特産品の花菜<sup>ほしろう</sup>の圃場<sup>ほしろう</sup>に使用する、環境負荷の少ない有機栽培のたい肥購入に対して、補助金を交付しています。2024（令和 6）年度も、JA 京都中央長岡京花菜部会に対して補助を行いました。

現在、長岡京市の農家で栽培している花菜は、1990（平成 2）年に「京のブランド産品」の指定を受けるとともに、2005（平成 17）年から「京都こだわり生産」の認証を受けています。



花菜（はなな）

#### ②市民の農業理解の促進

##### シルバー農園の運営

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
利用者数 180 人	利用者数 144 人

長岡京市では、高齢者の生きがいづくりのために、60歳以上の方を対象とした「シルバー農園」を市内に3カ所（井ノ内園、長岡園、調子園）で運営しており、市民の農業理解の促進にも寄与しています。利用定員は利用実態を加味し、令和 5 年度から 148 人に変更しています。今後も継続的な運営を行っていきます。



#### ③地産地消の推進

##### 地産地消推進協議会の開催による取り組みの充実

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
学校給食納品額 1,060 万円	学校給食納品額 1,107 万円

長岡京市の全小中学校で、地元産の野菜を給食に使用しています。2024（令和 6）年度も小・中学校とも 12 品目の野菜を納品しました。特産の花菜、なす、たけのこなども提供されており、児童・生徒の食育の面からも効果をあげています。



#### ④農地の保全

##### 農地パトロールの実施及び農地銀行制度の運営

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
遊休農地 11.5ha	遊休農地 18.6ha



遊休農地とは、農作物を収穫するために使われていない農地のことです。2024（令和 6）年度は、現地調査をより綿密に行ったことにより、前年度 16.6ha から 2ha 増加しました。遊休農地の発生を未然に防ぐため、農地パトロールを行い、耕作が不十分な農地については、市の農地銀行制度や京都府の中間管理機構の紹介、農業委員を通して貸し手借り手のあっせんを行い、担い手への集積を行っています。  
※農地銀行制度とは…農家間で農地の貸借を円滑に行うための本市独自の制度。農業委員会が仲介する。

#### (4)水辺環境の保全・再生

##### ①河川・水路の維持管理

##### 河川清掃支援

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
参加者数 280 人	参加者 277 人



河川や水路などの清掃を行う個人や団体にごみ袋を交付し、活動を支援しています。2024（令和 6）年度は、わずかに目標には届きませんでしたが、前年度の 250 人を上回ることができました。地域の方による日頃の清掃活動や、水辺環境の保全につながるため、今後も支援を継続していきます。

##### ②ホタルの保護と育成

##### ゲンジボタルを育てる会と連携した ホタルの保護活動及び自然環境保全啓発 (ホタル観賞のタベ含む)

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
保護活動及び啓発の実施	保護活動及び啓発の実施



小泉川に生息するゲンジボタルを保護し、自然豊かなまちづくりにつなげるために、「長岡京市ゲンジボタルを育てる会」を支援し、河川清掃や催し「ホタル観賞のタベ」に取り組んでいます。2022（令和 4）年度には、ホタルの人工飼育の場所を、西代里山公園管理棟内に移しました。公園に遊びにきた家族連れに、館内の関連展示と併せてご覧いただくことで、環境保全への理解を深めてもらうことができるものです。同団体は 2024（令和 6）年度に 40 周年を迎え、小泉川沿いに記念看板を設置しました。



## 柱 4 都市環境

### 主要指標 住民 1 人あたり公園面積

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
3.72 m <sup>2</sup>	3.42 m <sup>2</sup>



目標は未達となりましたが、本市は毎年人口が増加し続けているにもかかわらず、住民 1 人あたりの公園面積は前年度 3.37 m<sup>2</sup>に対し、0.05 m<sup>2</sup>増加しています。2024 (令和 6) 年度は、市内初のインクルーシブ公園である粟生畑ケ田公園をオープンしました。



令和 6 年 11 月にオープンした粟生畑ケ田公園

### サブ指標 みどりのサポーターによって管理されている緑地の数の維持

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
195 力所	182 力所



サポーターの高齢化に伴い、解散する団体もありますが、みどりのサポーターによって管理されている緑地の数は、前年度 178 力所から 4 力所増加する結果となりました。今後も、緑の講習会や「みどりで笑顔のつどい」といったサポーター間での交流の機会に、一般参加者も募集することで、サポーター数を増やす取り組みを継続していきます。

## (1)身近なみどりの保全・創出

### ①まちなかのみどりの創出

#### まちなかの公共空地等への植栽

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
まちなかに創出した緑被 面積累計3,430m <sup>2</sup>	まちなかに創出した緑被 面積累計4,207m <sup>2</sup>

前年度 3,698 m<sup>2</sup>に対し、509 m<sup>2</sup>増加しました。今後も長岡京すみどりの基本計画に基づき、「身近なみどりの創出事業」で、街中の緑を増やす取り組みを進めていきます。



塚本古墳公園に植樹した松葉菊



## 緑の講習会・グリーンカーテン コンテスト等の実施

2024 (令和 6) 年度 of 目標	2024 (令和 6) 年度 of 結果
参加・応募者数285人	参加・応募者数178人



住宅が多い長岡京市のまちなかでは、緑は貴重な資源です。長岡京市では、緑豊かなまちづくりを推進するため、(公財)長岡京市緑の協会と連携し、緑の講習会などの事業を実施しています。2024(令和6)年度は、緑の講習会を前年度同様11回開催し、前年度の173人から5人増える結果となりました。目標値との乖離は、グリーンカーテンコンテストを2022(令和4)年度に事業終了したことが要因として挙げられます。グリーンカーテンの啓発自体は、今後も継続して行っています。

## ②公園緑地の整備・維持管理

### 新規公園の整備・市民協働による 既存公園の維持管理

2024 (令和 6) 年度 of 目標	2024 (令和 6) 年度 of 結果
住民1人あたりの 公園面積 3.72 m <sup>2</sup>	住民1人あたりの 公園面積 3.42 m <sup>2</sup>



目標は未達となりましたが、本市は毎年人口が増加し続けているにも関わらず、住民1人あたりの公園面積は前年度3.37 m<sup>2</sup>に対し、0.05 m<sup>2</sup>増加しています。今後は西山公園(第3期)というやや規模の大きな公園の整備を予定しています。今後も市民が憩える公園を整備するとともに、市民等との協働により適切な維持管理に取り組んでいきます。

## ③緑の協会と連携した緑化の推進

### みどりのサポーター制度の普及

2024 (令和 6) 年度 of 目標	2024 (令和 6) 年度 of 結果
みどりのサポーター数 115 団体	みどりのサポーター数 107 団体



2004(平成16)年10月から始まったみどりのサポーター制度は、市内の公園や道路の掃除、植栽などを行うグループを支援する制度です。

緑の協会に登録を行うと、花苗の提供や清掃用具の貸出などの支援が受けられます。「公園が雑草ではなく、草花がいつも咲いている場所にしたい」「家の近くの道路はいつもきれいにしていきたい」など様々な思いを持って活動していただいています。2024(令和6)年度は、前年度106団体1,293人のサポーター活動だったのに対し、1団体増加しましたが、人数としては69人減の1,224人となりました。



## (2)環境に配慮した都市空間整備

### ①環境配慮型の都市基盤整備

#### 歩道の透水性舗装の施工

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
長岡京駅前線第 5 工区の 設計に反映	長岡京駅前線第 4 工区の 工事を継続



歩道に雨水がたまりにくくする「透水性舗装」は、環境に配慮した都市基盤整備と言え、この長岡京駅前線整備事業に反映していく予定です。当該事業については、各事業者との調整に時間を要し、設計変更を行ったこと、また、道路の占用物件の移転に想定以上の時間を要したこと等の理由により第 4 工区（産業文化会館以西から阪急踏切を横断して数十メートルまでの区間）の整備期間を延伸しているため、第 5 工区（第 4 工区終わりから文化センター通りまでの区間）の事業化には至っていません。事業に遅れは生じているものの、想定外の事象にも丁寧に対応し、着実に事業を進めていく予定です。

#### 阪急長岡天神駅周辺整備での検討

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
東地区南街区の検討	植樹等の実施



東地区南街区については、街区整備のための駐輪場の移設工事を行い、植樹など環境に配慮した整備を行いました。その他東地区南街区での環境配慮型の都市基盤整備については、阪急連続立体交差事業を見据えた長期的視点での検討を今後も継続して行っています。

### ②歩きやすい道路空間整備

#### バリアフリー・電線類地中化の推進

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
長岡京駅前線第 5 工区の 設計に反映	長岡京駅前線第 4 工区の 工事を継続



長岡京駅前線は、JR 長岡京駅西口から長岡天満宮・八条ヶ池をつなぐ道路で、歩道や車道が広がることで、誰もが安全に利用できるように、計画的に整備を進めています。歩道の整備においては、バリアフリーや電線類地中化を推進し、快適な歩行空間を確保しています。

当該事業については、同ページ上述のとおり、第 4 工区の整備期間を延伸しているため、第 5 工区の事業化には至っていません。引き続き第 4 工区整備を進め、第 5 工区の早期事業化を目指します。

## 歩行者道の整備

2024(令和6)年度の目標	2024(令和6)年度の結果
整備延長 560m	整備延長 332m

野添1丁目地区、調子2丁目地区、今里3丁目地区（合計延長186m）において、舗装復旧とともに、老朽化の激しい開渠側溝を暗渠化する事により歩きやすい歩行空間を整備しました。また、歩行者の安全性及び快適性を確保するため、友岡1丁目ほか地区（合計延長146m）においても歩道整備を行いました。一部事業の次年度への繰り越しにより、2024(令和6)年度の目標値には届きませんでしたが、今後も優先順位の高い地区から順次整備を進めていきます。



友岡1丁目地区の工事箇所

## ③個性ある景観の保全・形成

### 景観計画の運用に基づく景観届出審査

2024(令和6)年度の目標	2024(令和6)年度の結果
新景観計画及び景観形成ガイドラインに基づく運用	新景観計画及び景観形成ガイドラインに基づく運用

2020(令和2)年度に改定した景観形成ガイドラインを用いて、新景観計画の景観形成基準を申請者に的確に伝え、良好な都市景観への誘導を実施しています。



## ④グリーンインフラの活用

令和6年度は目標項目として掲げていませんでしたが、JR長岡京駅東口賑わい広場整備工事（その1）において、雨水貯留浸透型ブロック等のグリーンインフラを活用しました。工事は令和7年度に繰り越しており、早期の完成を目指します。



施工した雨水貯留浸透型ブロック

※グリーンインフラとは、街路樹などに代表される自然を活用したインフラのことで、CO<sub>2</sub>吸収源の創出、気温上昇の抑制、土壌創出による雨水の貯留・浸透などの多面的な役割を期待されています。

### (3)歴史文化資源の保存・活用

#### ①歴史文化資源の保存・活用

##### 神足ふれあい町家の活用

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
入館者数 15,000 人	入館者数 12,681 人



神足ふれあい町家の指定管理者である NPO 法人乙訓障害者事業協会により、様々な取り組みが行われました。特に 2024 (令和 6) 年度は、社会福祉協議会と連携し、新たに、子どもの居場所づくりを目的とした「まったり町家」を開始したほか、地域の学生や団体と協力した「夏まつり」や、ギャラリーを利用した企画展、バザーなど、これまでの事業をさらに定着化させました。また、Instagram 等を活用し、広報にも積極的に取り組み、その結果、入館者数は前年度 10,945 人より 1,736 人増加しました。

#### ②まちなか博物館ネットワークの整備

##### 「まちなか博物館ネットワーク」の整備

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
「まちなか博物館ネットワーク」の整備に向けた検討	「まちなか博物館ネットワーク」の整備に向けた検討



長岡京市文化財保存活用地域計画に基づき、恵解山古墳公園開園 10 周年を記念したイベントや、市内を周遊しながら長岡京市の歴史文化の魅力を発見できる周遊イベントを行いました。また、新庁舎(二期)の歴史資料展示室の基本設計を行うにあたっては、展示室が「まちなか博物館ネットワーク」の中心施設の役割を果たすことを念頭に設計を進めました。

### (4)環境美化の推進・住みよい生活環境の維持

#### ①地域の清掃活動の促進

##### 530 運動参加団体への支援

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
支援継続 ※目標設定時参考値 45 団体 (令和 2 年度)	支援団体 (108 団体)



530 運動とは、ごみを拾うことにより捨てない心を養い、散乱するごみの現状を自分達の問題として考えようという運動です。5 月 30 日(ごみゼロ)にちなんで、毎年この時期を中心に、年間を通じて市内事業所や自治会なども参加して行っています。市では、この運動に参加していただく団体に、ごみ袋の配布や火ばさみなどを貸し出して支援しています。2024 (令和 6) 年度は、前年度 107 団体に対し、1 団体増加しました。

## ②環境保全に係る啓発

### 美化パトロール・ワンワンパトロールの実施

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
環境美化推進員による美化パトロール 週 1 回年 60 日 夜間パトロール等におけるワンワンパトロール 月 1～2 回	環境美化推進員による美化パトロール 週 1 回年 60 日 夜間パトロール等におけるワンワンパトロール 月 1～2 回



ポイ捨て防止の指導・啓発を行ったり、散乱ごみを回収したりするなどのパトロールを行っています。2024（令和 6）年度に回収したごみの量は、たばこ 16,986 本、缶・ビン・ペットボトル 576 本でした。

### 生活環境向上のための啓発

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
広報紙への生活環境マナー啓発記事の掲載	広報長岡京 1 回掲載 市ホームページ掲載



広報長岡京に啓発記事を 1 回掲載するとともに即時的な内容のものはホームページに掲載し、啓発に努めています。

### 大気汚染や光害等に関する学習会の開催

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
啓発イベントの開催年 2 回	スターウォッチングを 2 回開催



大気汚染で空気が汚れていたり、地上の明かりが強過ぎて夜空全体が明るくなる光害などが原因で、星や惑星が見えにくくなっていることについて関心を持っていただくため、夏と冬の計 2 回、スターウォッチングを開催しました。2024（令和 6）年度は、夏の開催を、市直営から西山森林整備推進協議会主催の西山ファミリー環境探検隊に移管し、子ども達を中心に参加いただきました。



スターウォッチングの様子



### ③空き家や空き地の適正管理の推進

空き家の発生抑制・適切な管理の啓発及び空き家行政プラットフォームや空き家バンク等の運用

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
空き家の苦情是正率 85%	空き家の苦情是正率 57%



苦情があった空き家の所有者に対し、適切な管理のお願い文書を送付しました。樹木に関する苦情については概ね是正されましたが、その他の案件では、所有者と連絡がとれなかったり、対応に費用や時間を要するなど、相手のあることであるため、是正されないものもありました。

### ④環境調査の推進

各種環境調査の実施

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
基準超過箇所減少 ※目標設定時参考値 14 箇所 (令和 2 年度)	基準超過箇所 7 件



小畑川、小泉川の水質の保全

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
小畑川・小泉川 透視度：30cm 以上 BOD：2mg/ℓ 以下 PH：6.5～8.5 の維持	小畑川・小泉川 透視度：30cm 以上 BOD：小畑川 1.2mg/ℓ 小泉川 0.6mg/ℓ 以下 PH：小畑川 7.8 小泉川 8.1



※上記は、小畑川上流：井ノ内橋、小泉川上流：西代橋の調査結果である。

市では、変化する地域の生活環境を継続的に把握するため、独自に河川水質、自動車騒音、環境騒音、窒素酸化物、農業用井戸水の調査を行っています。2024 (令和 6) 年度の調査では、212 項目中 7 件で基準値を超過しました。毎年 10 件前後の基準超過が見られますが、いずれも一時的なもので、特に異常は見られませんでした。

## ★分野横断的施策

(1)ゼロカーボン社会を目指し、環境に優しく地域経済が循環するまち

①環境に配慮した事業活動の推進と環境基金の有効活用

### 排出量取引を活用した事業の調査研究

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
排出量取引を活用した事業の実施	環境に配慮した事業活動を展開する事業者との連携



2023（令和 5）年 10 月に、服飾関係の事業者である㈱ピエクレックスと、資源循環型社会形成の推進及び温暖化対策に関する協定を締結しました。同社開発のたい肥化可能な生地「ピエクレックス」を媒体として、資源循環と PET 繊維焼却由来の CO<sub>2</sub> 排出削減を目指すものです。2024（令和 6 年）には、この協定に賛同した地元企業から、ピエクレックス生地で作られたオリジナルタオルの寄附をいただき、長岡京市に婚姻届けを提出された方に、啓発の意味も込めて当該タオルを贈呈する取り組みを行いました。タオルは概ね 2 年間配付する量を寄附いただいています。



寄附いただいたオリジナルタオル  
(2050 Zero Carbon City の文字が刺繍されている)

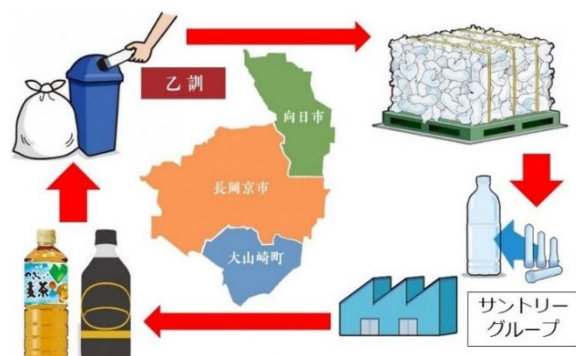
### ペットボトルの水平リサイクルの実施

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
取り組み成果の公表	取り組み成果の公表



2021（令和 3）年 10 月、長岡京市をはじめ、乙訓二市一町と乙訓環境衛生組合及びサントリーグループとの間でペットボトルのボトル to ボトルに関する協定を締結し、2022（令和 4）年度から取り組みを開始しています。ペットボトルからペットボトルへ、同じ製品に生まれ変わらせる「水平リサイクル」を推進することで、市民のペットボトル排出の方法に変わりはありませんが、製造過程の CO<sub>2</sub> や、焼却熱利用されることによる CO<sub>2</sub> 排出を抑制できます。

水平リサイクル以前はペットボトルが最終的に焼却熱利用されていたと仮定すると、2024（令和 6）年度 1 年間で長岡京市分のペットボトルのみで約 500t の焼却熱由来の CO<sub>2</sub> を排出削減できたと試算することができます。



BtoB のイメージ図

## ②グリーンコンシューマー活動・エシカル消費・顔の見える消費の拡大

### 環境に配慮した事業運営・消費行動の啓発

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
広報媒体等での啓発	観光分野における シェアサイクル事業の実施等



限られた区域に観光スポットが点在する長岡京市の特性を生かし、2020（令和 2）年度から株式会社あさひとの協定に基づき、シェアサイクル事業を展開しています。所定のサイクルポートであれば、乗り捨てが自由であり、点在する観光スポットを効率よく回っていただくのに適した移動手段です。市内には 7 カ所のサイクルポートが設置されています。観光分野における環境に優しい消費行動としても注目です。



その他、府の事業である「京都省エネ家電購入キャンペーン」の啓発を行いました。省エネ性能が高いエアコンや冷蔵庫を購入した人に、府内利用限定の電子マネーなどを還元する事業で、市ホームページ掲載、チラシ配架、また、問い合わせも多いことから、適切に案内を行いました。

※グリーンコンシューマー活動とは、買い物をするときに、できるだけ環境に配慮したお店や商品を選ぶ運動のこと。

### アゼリアエコチャレンジプロジェクト

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
参加人数の維持 ※目標設定時参考値 325 人 (令和 2 年度)	263 人参加



長岡中央商店街振興組合、環境経済部、教育委員会が連携して、一学期の社会科の授業でごみの学習を行った小学校 4 年生を対象に、環境への想いを描いた絵画を募集する「アゼリアエコチャレンジ・プロジェクト」を実施しています。2024（令和 6）年度は、参加校が減少し、前年度 675 人と比べて参加者数が減少しました。

## (2)環境と調和のとれた新たな地域の魅力を創造するまち

### ①みどりと歴史のまちづくり

#### 京都西山再生プロジェクト

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
ふるさと納税寄附件数 累計 175 件	ふるさと納税寄附件数 累計 178 件







## 京都西山 再生 プロジェクト

カブトムシ・オオムラサキ  
たちのくらす森















## 配水池跡広場の 基盤整備工事の実施

[illegible]

# 新庁舎歴史資料 展示設計

38



その他、歴史のまちづくりに貢献する取り組みとして、目標項目としては掲げていませんが、2024（令和 6）年度に、西国街道再整備工事（その 3）として 330m の施工を行いました。この工事の完成により、全区間 1050m の、歴史の風情を残した再整備事業を終えました。



再整備後の西国街道

## ②気候変動への適応と地域の魅力創造を両立するまちづくり

### 気候変動に適応したまちづくり事例の研究と庁内情報共有

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
先進事例等の調査研究	先進事例等の調査研究



他分野にわたる適応策を進め、地域の魅力創造につなげようと思えば、適応に関する庁内の理解促進が欠かせません。そこで年に 1 度実施している環境マネジメントシステム（KES）の職員研修に併せ、適応に関する研修を行ったほか、自治体の適応策の事例等の情報が充実している環境省の「気候変動適応情報プラットフォーム」のサイトの周知を行いました。

## (3)エコライフと暮らしやすさを両立するまち

### ①COOL CHOICE の推進

#### COOL CHOICE 実践補助金の実施

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
COOL CHOICE の実践を対象とする補助金の利用件数累計 632 件	COOL CHOICE の実践を対象とする補助金の利用件数累計 870 件



設備投資を伴う市民の温暖化対策の取り組みを支援するため、COOL CHOICE 実践補助金を交付しています。2024（令和 6）年度からは、補正予算を活用し、より一層の自家消費型の再エネ導入を促進するため、国の固定価格買取制度「FIT」を活用しない「非 FIT」の案件に対して補助額を拡充するなどの制度改正を行いました。

2024（令和 6）年度の申請件数は、薪ストーブの設置補助 1 件（100,000 円）、住宅窓の断熱改修補助 12 件（556,000 円）、太陽光発電設備と蓄電設備の同時設置補助 35 件（4,723,000 円）、次世代自動車の導入補助（事業者への補助含む）23 件（2,300,000 円）、家庭用燃料電池システムの設置補助 7 件（350,000 円）となりました。

補正予算で対応した、上述の補助拡充部分については、年度途中だったこともあり、申請がありませんでした。さらなる制度の周知を進めます。



補助対象の家庭用燃料電池システムは災害時も心強い

## ②ごみの出ない暮らし方の推進

### マイプラレディ運動の拡大

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
庁外へのマイプラレディ運動の啓発	庁外へのマイプラレディ運動の啓発



マイクロプラスチックによる海洋汚染や廃棄物の増加、気候変動といった環境問題を解決するためには、使い捨て大量消費の行動様式の見直しといった、これまでの慣例を社会全体として見直す取り組みが求められます。市では、特にプラスチックごみの削減について、「マイプラレディ運動=my(私の) pla(プラスチック類は) ready(自分で準備)」を進めています。新庁舎においては、給湯器をボトルの入る仕様のものとする事で、職員のマイボトル使用を奨励しています。

2024（令和 6）年度は、当該運動のチラシをイベントで配布したほか、事業者到店頭で掲示してもらうことを目的に、市公式 LINE の事業者向け配信機能を使って、ポスターデータを掲載した市公式ホームページへの誘導を行いました。

その他、プラスチックごみを出さない取り組みとして、市役所庁舎に傘のしずく取り器を設置しています。雨の日は傘用ビニール袋の設置が思い浮かびますが、雨しずくを吸収・振るい落とす仕様のもを設置することで、傘用ビニール袋を使用していません。今後こうした細かな点にも環境配慮を行っていきます。



ポスターのイメージ

### 家庭用品活用コーナーを利用した 家庭用品の再利用推進

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
広報媒体等での啓発	広報媒体等での啓発



「再利用（リユース）」とは、使用済みの製品をごみとして捨てずに、繰り返し使用することです。広報紙や市ホームページにおいて家庭用品活用コーナーの情報を掲載し、再利用を促進しました。

2024（令和 6）年度は、不要品提供の情報が 52 件、希望する情報が 49 件あり、13 件の再利用につながりました。

また、市では、さらなるリユース促進のため、不要品の譲り先を見つけるインターネットサービスを展開する「おいくら」「ジモティー」との協定を締結しており、市民の新たなリユースの選択肢として利用を勧めています。

### ③コンパクトなまちづくりの推進

#### 都市再生整備計画事業の推進

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
進捗率 【西山天王山駅周辺】二次計画の推進 【都心ゾーン】二次計画の推進	進捗率 【西山天王山駅周辺】一次計画で終了 【都心ゾーン】二次計画の推進



西山天王山駅周辺地区については、一次計画で都市整備にいったんの区切りがついたことから、次期計画については現時点で作成しないこととなっています。都心ゾーン地区については、二次計画に基づき、新庁舎歴史資料展示室の設計や八条ヶ池の遊歩道の整備工事などを実施しました。

### (4)持続可能な未来を築く人が育ち・学び・人がつながる環境の都

#### ①中間支援組織と連携するなどした環境団体等の活動支援

#### 市民活動サポートセンターの管理運営

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
市民活動・ネットワーク づくりに関する相談件数 延べ 100 件	市民活動・ネットワーク づくりに関する相談件数 延べ 110 件



メールマガジン、ホームページ、インスタグラム等で、登録団体の活動情報や補助金情報などを発信したほか、立ち寄りやすい窓口レイアウトに変更するなどの工夫を行いました。結果として、2024 (令和 6) 年度の相談件数は、前年度 78 件に対し、32 件多い結果でした。市民活動サポートセンターが支援する「非営利で公益性の高い」事業について、センターと団体で考え方の共有を図っておくことも重要です。

#### ②環境学習の機会の提供

#### 西山ファミリー環境探検隊の実施

2024 (令和 6) 年度の目標	2024 (令和 6) 年度の結果
年 4 回実施	年 3 回実施



西山ファミリー環境探検隊は、西山をフィールドにして、家族で自然を楽しんでもらう中で、西山への理解を深めてもらい、環境保全意識の高揚を図ろうとするものです。2024 (令和 6) 年度は、雨天により秋の企画を中止し、全 3 回開催しました。

学校現場においては、環境マネジメントシステムの一つである「KES 学校版」を継続して認証取得しており、児童・生徒とともに運用を図っています。



指導員からの自然観察の振り返り  
(西山ファミリー環境探検隊)



### 放課後子ども教室（環境活動体験）等の実施

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
参加者数 200 人	参加者数約 100 人



コロナ禍後、すすく教室の活動日数や参加児童数は回復傾向にあります。たけのこ掘り体験など、環境の都づくり会議による環境活動体験も継続して実施でき、2024（令和 6）年度の参加者数は、目標値には届かないものの、前年度の 40 人より大幅に増加しました。同会議による環境活動体験以外では、校区コーディネーターの企画・運営により、芋ほり体験、茄子の収穫体験、竹林体験、門松づくり、竹工作などの自然に親しむプログラムが開催されました。自然に触れ、自然について学ぶことを通して、自然を慈しむ気持ちの醸成に寄与したと考えます。



たけのこ掘り体験の様子

### 市民企画講座（「環境」テーマ分）等の実施

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
講座数年 2 件 参加者数 50 人	講座数年 11 件 参加者数 119 人



市民企画講座は、その名のとおり市民が主体となって企画するものです。2024（令和 6）年度は、「室内でも親子でたっぷり自然遊び!!」を 3 回、「あき缶をリメイクして植木鉢を作ろう」「長岡京竹ドミノ大会」「長岡京市 SDGs 交流会」「脱炭素と環境共生」「竹林で百人一首を楽しもう!」「カブト・クワガタの採取方法・飼育方法」「乙訓の川にはどんな生き物が住んでいる?」「米粉カステラを作って SDGs を学ぶ」をそれぞれ 1 回の 9 企画 11 講座を開催しました。「室内でも親子でたっぷり自然遊び!!」では、自然界の飛びものをテーマに、折紙で模倣した種の飛び方などを学んだほか、種や葉っぱを入れたオリジナル万華鏡を作ったり、葉っぱなど、自然界の色の变化について学んだりしました。また、「乙訓の川にはどんな生き物が住んでいる?」では、乙訓地域の河川で生物の保護や自然環境の整備に取り組んでいる「NPO 法人乙訓の自然を守る会」を講師に、川遊びの仕方や水生生物の捕まえ方の講義を行いました。これからの市民の主体的な活動を支援していきます。



「室内でも親子でたっぷり自然遊び!!」の様子



### ③地域の中で環境を考える学び合いの機運の醸成

#### 環境フェア・農業祭などのイベント実施

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
環境イベントの開催	環境イベントの開催

2024（令和 6）年度も、環境フェアと農業祭を合同で開催し、環境と関係性の深い「農」と併せて PR することで、地産地消による温暖化対策や地元農業振興など、分野横断的な啓発イベントとしたほか、大阪・関西万博開催記念として、国際的な要素なども取り入れました。市民ホールでは、「今日からできる食品ロス削減～台所から SDGs～」と題した講演会を開催し、食品ロス削減について啓発を行いました。当イベントは、毎年多くの団体・事業者が関わっており、これにより「市民から市民へ」の啓発の活発化に寄与しているものと考えます。



発電体験の様子

#### 地域内での異なる団体間の交流の機会の創出

2024（令和 6）年度の目標	2024（令和 6）年度の結果
交流の機会の創出	交流の機会の創出

地域内で環境について考える機運を醸成するため、行政から市民の方への啓発だけでなく、市民の方同士の交流・啓発が活発化するような視点・取り組みを重要視しています。たとえば、小さなことですが、広報長岡京で太陽光パネル等の補助金の案内をするにあたっては、「既にこれだけの市民の方が取り組みを進め、これだけの CO<sub>2</sub> を減らした」というように、同じ市民の立場の人が行動変容していることを訴えかける内容としました。

他にも、2024（令和 6）年度の事例で言うと、長岡京市のホタルの保護活動に関する他市の市民視察団の受け入れにあたっては、長岡京市ゲンジボタルを育てる会をサポートする形で、市民同士で交流いただきました。同じ市民という身近な立場の人達からの啓発を通して、環境問題の「自分ごと化」に寄与するものと考えています。



他市からの視察受け入れの様子